

御家人の不満と幕府の滅亡

今日の問い

元寇の後、御家人はなぜ苦しくなり、鎌倉幕府はどのように滅んだのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 元寇の後、御家人はなぜ苦しくなったか。

恩賞・分割相続・永仁の徳政令

元寇は防衛戦で、幕府は御家人に十分な ¹ 恩賞 を与えられなかった。

² 分割相続 で領地が小さくなり、生活に苦しむ御家人が増えた。幕府は1297年、

³ 永仁の徳政令 を出し、御家人が手放した領地をただで取り戻させた。

2 鎌倉幕府はどのようにして滅びたか。

後醍醐天皇・足利尊氏・新田義貞

御家人の不満が強まる中、⁴ 後醍醐天皇 が幕府をたおそうとし、有力な御家人の

⁵ 足利尊氏 や ⁶ 新田義貞 も幕府にそむいた。1333年、⁷ 鎌倉幕府

は滅亡した。

年表 — この単元のできごと

1281

弘安の役が起こる(2度目の元寇)

1297

永仁の徳政令が出される

1333

鎌倉幕府が滅びる

まとめ

今日の問いに答えよう。「恩賞」「後醍醐天皇」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)元寇は防衛戦だったため、御家人は十分な恩賞を得られず、幕府への不満を強めた。その中で後醍醐天皇が倒幕をはかり、足利尊氏らも幕府にそむいて、1333年に鎌倉幕府は滅んだ。

☐ 御家人が苦しくなった理由がわかる ☐ 永仁の徳政令の内容を言える

☐ 鎌倉幕府が滅んだ流れを説明できる

できた ☐ / 7

